

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

近隣地域からの侵入で広がりました。鹿児島県では一般防除種に指定され、奄美大島、徳之島などで確認されています。在来木本を駆逐したり、遷移の停止などの生態系への影響が出ています。自己の管理地に生えている場合は、できれば伐採などにより除去しましょう。

1 基本情報

分類	
目・科名	マメ科
種名(亜種名)	ギンネム
学名	<i>Leucaena leucocephala</i>
環境省カテゴリー	重点対策外来種
県カテゴリー	一般防除種
由来	国外由来外来種
侵略的外来種番付表	前頭(島嶼)
番付表掲載の理由	県内の生態系等に大きな影響を与える又は与えるおそれのある外来種
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	世界の侵略的外来種ワースト100
侵入・定着の状況	
自然分布域	中米～南米
県内初報告	不明
県内への侵入の経緯	栽培逸出。近隣地域からの侵入など
県内の侵入分布	奄美大島、徳之島など
全国の侵入分布	小笠原、八重山諸島、奄美大島
生態学的特性	
生態	日当たりのよい道端や原野、林縁に生育する。種子繁殖、萌芽の再生から成長が速く、森林をつくる。その後、遷移が進みにくい。
形態	樹高は1～10mの常緑広葉樹。茎は直立して枝分かれする。葉は羽状複葉で無毛。茎の先に淡緑色の球状の花をつける。約15cmの扁平なマメのような果実をつける。
繁殖形態	繁殖期は通年。 両性花で虫媒花。マメのような果実は重力散布。
生息環境	亜熱帯～熱帯の日当たりの良い道ばたや原野、林縁に生育する。
特記事項	—



2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①在来木本を駆逐。生態系に影響(遷移の停止)。
県内で特に予想される被害	県内の在来木本を駆逐。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①在来木本を駆逐。 ②栽培していたものの逸出。
3 対策	
ギンネムを見つけたら	自己の管理地に生えている場合は、できれば伐採などにより除去しましょう。
見分け方	ギンネムの花は、類似種のネムノキに比べ、白くやや小さい球状になる。
見かけやすい場所・時間	日当たりの良い道ばたや原野、林縁に生育する。
防除方法	伐採による防除。
防除の取組事例	東京都では、小笠原諸島での駆除を実施している。
その他	—
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/80130.html 財団法人自然環境研究センター(2008)日本の外来生物. 平凡社. 東京 Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 東京都小笠原支庁ホームページ 外来木本植物対策 http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/nature/grapple_introducedspecies.html